

第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会 出展レポート

本会では、今年度においても同学会の企業展示に出展しました。来場者属性は、摂食嚥下のリハビリテーションに関わる医師、歯科医師、看護師、栄養士・管理栄養士、言語聴覚士（ST）、作業療法士、歯科衛生士、など多職種にわたります。今回は全国からおよそ6,000名を超すこれら職種が参加しました。

出展企業については食品企業の他、医療機器メーカーなど関係企業を合わせておよそ110社、このうち46社が食品企業となります。本会および会員企業は計23社であり食品企業出展社の半数を占めました。

今回、協議会小間では、資料・サンプル配布と認知度調査を実施しました。認知度調査は2種において実施しましたが、2日間で計300名のみなさまにご協力いただきました。以下、調査内容の一部をご紹介します。

Q. UDF をご存じですか

UDF の認知度は、「知っている」68%、「名前だけ知っている」21%と併せて89%でした。UDF は専門職の間では非常に高い認知率となります。

UDF はそもそも市販用の介護用加工食品を一般消費者に分かりやすく伝えることを目的としておりますので、この結果を在宅訪問の有無によって比較してみます。

- 在宅訪問をする 「知っている」77%、「名前だけ」17%、合計94%
- 在宅訪問をしない 「知っている」63%、「名前だけ」23%、合計86%

このように、それぞれの認知率はそもそも高いものですが、「在宅訪問をする」方の認知率が上回りました。やはり、UDF は在宅で案内するためにほぼ必須の基準といえるかもしれません。

ちなみに、「在宅訪問する」職種を見ると、歯科医師30%、ST26%、看



企業展示会場の様子

護師24%、歯科衛生士9%の順でした。「在宅訪問しない」職種では、看護師33%、管理栄養士・栄養士28%、ST26%となりました。訪問歯科診療を実施している歯科医師が近年では増加傾向にあると伝え聞きますが、本アンケートでも歯科医師および歯科衛生士をあわせて39%と高い比率となりました。

UDF にとって、在宅訪問を実施する職種に対する啓発をさらに積極的に行っていく必要があります。

会 期：令和元年9月6日（金）・7日（土）

会 場：朱鷺メッセ（新潟市）

来場者数：6,000名以上（主催者発表）

【会議、催事等の予定】

11月1日（金）第21回新宿食支援研究会 WG（ふれあい歯科ごとう）

11月8日（金）UDF 講演会・第8回UDF 官能評価会（ホテルメトロポリタンエドモント）

11月14日（木）第5回業務用 WG（本会会議室）

11月20日（水）第3回容器包装研究会（本会会議室）

11月29日（金）～30日（土）令和元年度第2回理事会（山形市）

【UDF 商品登録状況（2,006品目・9月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	8	12	0	95	115
冷凍食品	307	262	674	19	0	1,262
常温食品	169	139	191	129	1	629
合 計	476	409	877	148	96	2,006

【会員の異動（9月）】

新規加入会員1社：大徳食品(株)

計82社（9月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>